

夏の生きもの

夏の北の丸公園では、樹液の出る木でカブトムシやクワガタムシ、木の幹にとまり鳴くセミ、水辺を飛ぶトンボなど多くの昆虫類が成虫となって姿を見せてくれます。昆虫たちで賑やかな公園をお楽しみください。



カブトムシ (オス) コガネムシ科カブトムシ属 林



ミヤケミズムシ ミズムシ科ミヤケミズムシ属 池



コシアキトンボ トンボ科コシアキトンボ属 池

池で暮らす生き物

公園内の池は人工的に造ったものですが、現在は池の一部に植物が繁茂して、小さな生物の隠れ場所ができました。飛んで移動できる水生昆虫が池に住み着き、昔は見られなかった種が多く見られるようになりました。中には東京都で絶滅が危惧される希少な生物も生息しています。

北の丸公園では右表に示す多くの生物が生息しており、千代田区内でも生物の多様性が高い場所です。

夏には公園内で見られる昆虫類の数が最も多く(693種)なります。池では様々なトンボが見られ、林やその周りでは運が良ければ都区部でも珍しいタマムシに出会えるかもしれません。一方でカエルやカメなど水辺の生き物は暑い日は日陰や水の中でおとなしくしていることも多く、少し見つけづらくなります。

項目	種数	希少種
植物	719種	17種
鳥類	51種	22種
水生生物	49種	14種
両生類・爬虫類	9種	7種
陸産貝類	30種	2種
昆虫類	957種	17種

北の丸公園のセミ

夏の公園内では、7月頃からセミが盛んに鳴き始めます。主にみられるセミは5種類で、中でもニイニゼミは最も早い時期から鳴き始めます。アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミは盛夏に、ツクツクボウシは晩夏に多くなります。



6月下旬～9月
ニイニゼミ
セミ科ニイニゼミ属 林



7月～9月
アブラゼミ
セミ科アブラゼミ属 林



7月～10月上旬
ミンミンゼミ
セミ科ミンミンゼミ属 林



ネムノキ マメ科ネムノキ属 林



ムシイトトンボ イトトンボ科イトトンボ属 池



タマムシ タマムシ科リリタマムシ属 林



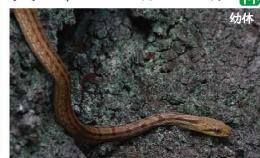
ホオノキ モクレン科モクレン属 林



ミナメダカ メダカ科メダカ属 池



イソノホドリ ヒタキ科イソノホドリ属 林



シマヘビ ナミヘビ科ナメラ属 草



ニホンヤモリ ヤモリ科ヤモリ属 林



アズマヒキガエル ヒキガエル科ヒキガエル属 林

夏

北の丸公園の生き物 ～環境別～

Summer Ver.

多くの生き物は、種ごとに異なる資源(食べ物、生息場所、活動時間など)を利用して生活しています。北の丸公園には樹林、草地、水辺など様々な環境があるため、公園全体では沢山の種類の生き物が確認されています。



明るい池 (中の池)



ウチワヤンマ



薄暗い池 (下の池)

～池でみられるトンボ～

公園内では26種のトンボが確認されています。主に水辺に生息していますが、種ごとに利用している環境が少しずつ異なります。例えば、モノサシトンボは周囲に林のある薄暗い池(下の池)、ウチワヤンマは開けた明るい池(中の池)を好みます。産卵方法も様々で、ベニイトトンボは水辺の植物に卵を産み付け、シオカラトンボは水面に卵を産み落とします。このように、多くのトンボが生息するためには、池だけでなく木や水生植物などの存在も重要になります。

- 公園内は採集禁止です。
- 園路から観察してください。



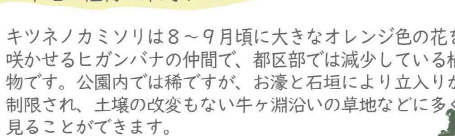
牛ヶ淵池い(立入禁止区域)



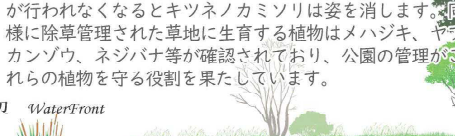
キツネノカミソリ



メハジキ



ネジバナ



ヤブカンゾウ

～草地の植物と草刈り～

キツネノカミソリは8～9月頃に大きなオレンジ色の花を咲かせるヒガンバナの仲間、都区部では減少している植物です。公園内では稀ですが、お濠と石垣により立入りが制限され、土壌の改変もない牛ヶ淵池の草地などに多く見ることができます。この草地は定期的な草刈りによって維持されており、管理が行われなくなるとキツネノカミソリは姿を消します。同様に除草管理された草地に生育する植物はメハジキ、ヤブカンゾウ、ネジバナ等が確認されており、公園の管理がこれらの植物を守る役割を果たしています。

水辺 WaterFront

草地 GrassLand

樹林 Grove



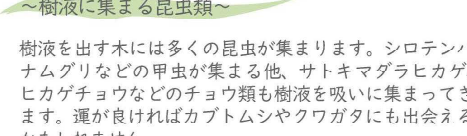
サトキマダラヒカゲ



ヒカゲチョウ



ハナムグリ類



タブノキ

～樹液に集まる昆虫類～

樹液を出す木には多くの昆虫が集まります。シロテンハナムグリなどの甲虫が集まる他、サトキマダラヒカゲ、ヒカゲチョウなどのチョウ類も樹液を吸いに集まってきます。運が良ければカブトムシやクワガタにも出会えるかもしれません。公園内ではクヌギやコナラのようにドングリをつける木だけでなく、広く植えられたタブノキからも樹液がでるので、樹液に集まる昆虫を身近に観察することができます。



周辺の情報は
こちらへ